

西条市まちづくり市民会議における評価・意見及び回答

③令和元年度地方創生推進交付金事業等

No	まちづくり市民会議委員から提出された評価・意見等		評価・意見等に対する回答
	事業名	評価・意見等の内容	
1	1. ソーシャル・イノベーション創出に向けた新たな起業家誘致プロジェクト	達成率が低い原因はきちんと検証していくのか。行政として達成への指導はされていたのか。	指標達成に向けて、コーディネータと連携し、起業の実現に向けた指導及び支援に取り組んで参りましたが、当初の計画より起業家の採用に時間を要したことから、期間内での起業につながることが間に合わなかったため、達成率が低くなったものと理解しています。今後も、起業家をフォローしていくとともにソーシャル・イノベーション創出に向けて取り組んでまいります。
2	1. ソーシャル・イノベーション創出に向けた新たな起業家誘致プロジェクト	ソーシャル・イノベーション創出に向けた新たな起業家誘致プロジェクトは、移住の達成率が70%だが、この移住者がこれから何年か先も西条に住んでくれているのが気になる。その後を追って欲しい。	本事業は、起業家を誘致することで新たなチャレンジを応援するとともに、地域に根ざす「新たな産業」の創出を目指すものです。今後も、誘致した起業家をフォローしていくとともに、新たなチャレンジを応援できるまちづくりに取り組んでまいります。
3	2. 四国西部エリア戦略型観光サービス創出事業～雄大な自然と山岳信仰文化に導かれる浄化・癒しをコンセプトにした国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成～	今後も交付金等を投入していくのか。観光産業は今後経営が厳しくなることが予想されるが、税金をかけてどこまで事業を推進していくのか聞きたい。	先般、内閣府に事業期間延長の申請を行い、令和4年度までの事業計画を承認いただきました。現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光産業全般が大きな痛手を負っていますが、同感染症収束後の観光需要の回復や、国等の観光需要喚起施策に対応できるようしっかりと準備を進め、収益の確保に努めてまいりたいと考えています。
4	2. 四国西部エリア戦略型観光サービス創出事業～雄大な自然と山岳信仰文化に導かれる浄化・癒しをコンセプトにした国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成～	株式会社ソラヤマいしづちの事業は、交付対象事業費が大きいので期待が大きい。ソラヤマいしづちの名前こそ聞いたことがあり知っているが、まだどんな事業を行っているのか、市民まで知れわたっていない気がする。	株式会社ソラヤマいしづちは、観光分野において、域外からの外貨を獲得するため、着地型観光の企画・販売に特化した旅行会社です。同社の認知度向上が図られるよう、市においてもこれまで以上に事業周知を行ってまいります。
5	2. 四国西部エリア戦略型観光サービス創出事業～雄大な自然と山岳信仰文化に導かれる浄化・癒しをコンセプトにした国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成～	4市町村が立ち上げた株式会社ソラヤマいしづちであるが、新型コロナの影響もあると思うが、もう少し頑張ってもらいたい。宿泊ができる場所を増やさないといけないのではないかと。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、株式会社ソラヤマいしづちのみならず、観光業全般に大きな影響が出ています。現在、同社はコロナ収束後の旅行需要の増大や国の旅行需要喚起施策を獲得できるよう付加価値の高い旅行商品の造成を進めています。宿泊については、滞在時間の延長、消費活動の拡大に繋がる重要な要素の一つと認識しており、本年度は、山荘しらす（いの町）と白滝の里（大川村）、来年度は姫鶴荘（久万高原町）の改修をそれぞれ予定しています。
6	2. 四国西部エリア戦略型観光サービス創出事業～雄大な自然と山岳信仰文化に導かれる浄化・癒しをコンセプトにした国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成～	いの町は別にして久万高原町、大川村はまさに近接にも関わらず道路事情・アクセスの面で少々苦戦するのではないかと。魅力は十分なので地点をうまくつなぐ方法とツールを考えてほしい。委員でありながらいの町以外あまり足を運ばない。	ご指摘のとおり、アクセス面において不便を感じるものの、それを補ってあまりある観光資源があるものと認識しています。距離のある地点間のアクセス方法（2次交通）については、検討を重ねているところですが、到着地点での周遊についてはE-bike（電動アシスト付きスポーツ自転車）の普及を図る等、短い時間においても旅行者が楽しめる手法を提供する予定です。
7	2. 四国西部エリア戦略型観光サービス創出事業～雄大な自然と山岳信仰文化に導かれる浄化・癒しをコンセプトにした国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成～	新型コロナウイルス感染症拡大第一波終了後の「生活様式の変化」でソーシャルディスタンスを確保する必要があるため、レジャーもアウトドアに傾かざるを得ないのではないかと。ある意味、豊かな自然はチャンスなので、黒瀬ダム湖を回遊したりカヌー等活用したり、ハイウェイオアシスにあるモンベルの得意な川で遊ぶ分野を開発してはどうだろう。	ご指摘のとおり、いしづちエリアの豊かな自然は、レジャーやアウトドアに最適であると考えています。5月23～24日に開催予定であった環境スポーツイベント「石鎚 西条 SEA TO SUMMIT」では、本市のアウトドアフィールドを全国に向けて発信する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、残念ながら中止となりました。今後はモンベルやアウトドアを専門とする地域起こし協力隊員等と協力し、山だけでなく川や海といった旅行商品も開発してまいります。
8	4. アウトドア活動促進による収益性向上のための拠点施設整備	令和元年度の目標をはるかに凌ぐ実績となっていますが、目標値を上方修正することはあるのか。	この目標数値は、地方創生拠点整備交付金の申請に当たり、申請時の状況を勘案して設定した数値です。令和元年度においては、目標数値を大幅に上回る実績となりましたが、成果としては事業の最終年度に当たる令和4年度の実績が問われることから、現時点では上方修正を行う予定はありません。
9	4. アウトドア活動促進による収益性向上のための拠点施設整備	用品売り場は近隣にない規模で充実していると思います。ビジターセンターのスペースはビジターセンターの機能を有していないと思う。	当施設のビジターセンターでは、本市の観光情報、登山・トレッキングなど各種情報の案内を行うとともに、当施設のキャンプ場、クライミング施設等の受付業務を行っています。また、当施設は国土交通省の「道の駅」にも登録されていることから、道路情報の提供も行っています。指定管理者の有する情報発信力及びノウハウを発揮いただけるよう、今後も連携を密にして機能の強化・充実を図ってまいります。